

網張ビジターセンター ニュースレター



Amihari
visitor center

Vol.102
2022.5

お久しぶりです～



12年ぶいの再会

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

“イボタガ”との春限定の出会い

雪かきをしてもとめどなく雪が積もり、屋根からの雪と下の雪とが繋がりが、しばらく暗い館内になってしまった日々が幻だったかのように一気に雪のとけた森の中でイボタガに出会いました。よく似た色合いの石につかまっていることに最初は気づかず通り過ぎかけたものの、言葉にできない違和感があり、出しかけた足を戻して屈んで見てみることに。控えめな色彩ながらも鮮明な模様のイボタガが目に入り込んできて釘付けになりました。春にしか出現しないため出会いのチャンスは限られ、前回会ったのは2010年のこと。「ようやく会えた…」待ちに待った再会に胸は躍り、すぐさま撮影会となりました。その日の気温は10度を下回りイボタガは全く動かず撮影には好都合です。翅の先に触れてみるとそれまで石の一部と化していたのが、扇子を勢いよく広げた時のように“パッ”と翅が広がり、隠れていた触覚が飛び出し、その一連の音が聞こえてくるかのような迫力がありました。同じ大型のガでも秋に見られるヤママユやウスタビガは落ち葉によく似た色合いなのに対し、イボタガは葉っぱの出揃わない時期に目につきやすい樹皮の模様によく似ていて、それぞれが発生時期の色彩にうまく溶け込んでいることに改めて感心させられた出会いとなりました。

What is “Ibotaga”?

『春だけ出会えるガ』

イボタガ科

開帳：約80～115mm

分布：北海道～九州

平地～山地に生息。幼虫はモクセイ科のイボタノキ、ネズミモチ、トネリコなどの葉を食べる。蛹で越冬し、繭は作らず土の中で蛹になり3月下旬～4月に羽化する。日本固有種。前翅の目玉模様や波状模様が特徴的で、模様がフクロウに似ていることから英名は「Owl moth」。

(参考図書：「ヤブ侏」ケツガ 伊 邦ガ」他)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



4月下旬、明け方近くの東の空から東南にかけて木星、金星、火星、土星が並ぶ「惑星直列」が見られると聞き、せっかくなので網張で観察する事にしました。白みつつある通いなれた県道を登り、まだ営業期間前のキャンプ場・芝生サイトの前に到着すると、澄んだ空気が静謐さを際立たせている印象でした。

ひときわ輝く金星を頼りに、その直線上を斜めに目で辿ると…。

かろうじてですが4つの惑星を目視で捉える事ができました。

惑星直列とは？ 太陽系内の惑星が太陽に向かってほぼ一直線に並ぶ現象。天文学用語ではない。複数の明るい惑星が同時に観測好期を迎えるので、視覚的に目を引く現象。

今回、夜中に起きて天体現象を見に行く事は自分にとって初めてで、未踏の場所に下りたような不思議な体験でした。



小さくて確認がし辛いですが、各惑星と月が空に浮かんでいた

夜明けと共にさえずり始める野鳥。弱い光ではまだ開こうとしない花々。薬師の泉ではコケから落ちる雫が、水面に映った空や木々の像を静かに揺らし続けていました。自分という個に関わらず、自然の摂理は回り続けている事をあらためて感じました。



【千古不易】 遠い昔からずっと変わらないこと。永久に不変であること。

これからの連載を通じて、様々な「空」へ訪ねて行けたらと思います。天体や気象、生きもの、植物、そして人…。つづく「空」にどんな出会いが待っているのでしょうか？



アミハリ・バード
Vol. 44

カヤクグリ

科名：イワヒバリ科
全長：約14cm
生態：漂鳥
分布：九州以北
(九州では冬鳥)

早春、根開きが進んだ幹を巡って採食できる物を探す素振りの野鳥がいました。色は茶色で普段は見かけません。時期的に、暖地から上がって網張に立ち寄ったカヤクグリだったのかな、と想像を巡らせました。



鳴き声

チンチリリ
チリリリ…

それからしばらくして、まだ一部雪が残る御神坂コースを登った際、1,700m付近での事でした。ハイマツ帯から顔を出した岩の上で、周りを見渡しながらかえめにさえずるカヤクグリに出会いました。標高の高い山で繁殖する事が知られているため納得の行動です。厳しい環境に思えますが、天敵や競合する鳥が少ないなど利点があるのでしょう。スズメとほぼ同じか若干小さい体ですが、大きく開いた足に揺るぎない強さを感じました。

網張ビクターセンターヒストリー ～ Vol.2 企画展示 ～

網張ビクターセンターでは、開館した年の2005年(平成17年)5月20日から「昔懐かしい登山・スキー用具」と題して山岳関係者よりご寄贈いただきました山道具展示を皮切りに、近隣などで活動されている多くの方々のご協力のもと写真展や水彩画展、いきものを紹介する展示など常設展示の他に様々な企画展示を開催してきました。岩手山やその周辺の山々、高山植物、いきものなどの作品展示は自然の魅力を知ることができると毎回好評をいただいています。今回は、これまでどのような企画展示を開催してきたのかを振り返ってみたいと思います。

2005年 (H17)

5月 網張 VC「昔懐かしい登山・スキー用具」展示



6～10月 工藤宏写真展

「鞍掛山の花」

10～12月 佐々木弘元写真展

「岩手山の四季」

2006年 (H18)

1～2月 阿部不顕写真展

「春夏秋冬・岩手山」

3～4月 小川クニちぎり絵展

「四季の花と風景」

4～5月 工藤宏写真展

「三ツ石山及び千沼ヶ原の花」

6～7月 足澤匡スケッチ展

「素描～岩手県内の花と樹」

8～9月 渡邊治写真展

「花石近辺の鳥たち」

9～10月 藤村節子布絵展

「ふる里の山々」

11～12月 広野孝男山スケッチ展

「岩手山・三ツ石山・裏岩手」

2007年 (H19)

1～2月 佐々木弘元写真展

「秋田駒ヶ岳の厳冬と四季」

3～4月 高八卦正一ちぎり絵・はり絵展

「岩手山の四季」

5～6月 工藤宏写真展

「三ツ石・烏帽子・千沼ヶ原の花」

7～8月 藤村節子布絵展

「野の花々とふる里の風景」

9～10月 中山大太郎写真展

「岩手山の表情」



「岩手山カレンダー」は現在も人気が高い。

11～12月 多賀谷真吾写真展

「ふるさとの山に向かひて-岩手山の山岳風景」

2008年 (H20)

1月 滝沢村(現:滝沢市)写真展

「滝沢村の風景」

2月 環境省国立公園巡回写真展

「美しい国・日本の自然美」

3～4月 佐々木弘元写真展

「山麓・里地の風景写真」

5～6月 三村治男「チョウやトンボの生活史」展

7～8月 コウモリの保護を考える会「コウモリってどんな動物かな?」展

9～10月 工藤宏写真展

「鞍掛山、三ツ石山、千沼ヶ原の花」

11～12月 鬼海裕一写真展

「巖鷲山と白鳥 swan」

2009年 (H21)

1～2月 多賀谷真吾写真展

「岩手の海と森・リアスの海岸風景」

3～4月 菊池健逸写真展

「青春時代へのタイムスリップ～厳冬」

5～6月 中山大太郎写真展

「岩手山の表情Ⅱ」

7～8月 コウモリフェスタ2009in 岩手網張温泉

「空飛ぶ哺乳類『コウモリ』のひみつ展」

9～10月 藤村節子布絵展

「無数の布達と私」

11～12月 工藤義之水彩画展

「山小屋を描く」

2010年 (H22)

1～2月 多賀谷真吾写真展

「たおやかなる岩手の山々: 非火山性山麓の魅力」



3～4月 鬼海裕一写真展

「巖鷲山と里山の動物百態」

5～6月 菊池健逸写真展

「滝紀行」

7～8月 網張 VC

「岩手山周辺の昆虫展」

9～10月 中山大太郎写真展

「岩手山の表情Ⅲ」

11～12月 工藤宏写真展

「三ツ石山・奥産道の花」

2011年 (H23)

1～2月 細川敬次写真展

「山スキーで行く八幡平」

3～4月 多賀谷真吾写真展

「写真集『句華愁凍』出版記念」

5～6月 工藤義之水彩画展

「網張周辺の風景」

7～8月 東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展

「心にくる風景」

「生きものたちのいる風景」

9～10月 高八卦正一ちぎり絵展

「岩手山と野の花・ほか」

11～12月 荒川三郎写真展

「探訪の譜～七滝の四季」



2012年 (H24)

1～2月 鬼海裕一写真展

「小千鳥物語」

3～4月 工藤宏写真展

「平ヶ倉沼から千沼ヶ原、烏帽子岳の花」

5～6月 伊藤英子スケッチ展

「心のスケッチ展」



7～8月 環境省

「東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展」

9～10月 中山大太郎写真展

「秋田駒ヶ岳 四季の表情」

「岩手山の表情Ⅳ」

11～12月 佐々木弘元写真展

「天上の花園」

2013年 (H25)

1～2月 細川敬次写真展

「山スキーで行く八幡平」

3～4月 工藤宏写真展

「白沼 烏帽子岳 千沼ヶ原 平ヶ倉沼コースの花」

5～6月 工藤義之水彩画展

「木道のある山の風景と山の花」

8月 東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展

「東北の自然いきもの」

9～10月 藤村節子ちぎり絵展

「思い出の布・古布で描いた岩手の風景」

企画展示をきっかけに布絵行事などを開催したことも。

11～12月 菊池健逸写真展

「岩手山 八幡平を詩う」

「岳人」

2014年 (H26)

1～2月 三井秀男写真展

「網張に遊ぶ 網張の“えくぼ”」

3～4月 網張 VC

「パークボランティアの魅力」

5～6月 中山大太郎写真展

「岩手山の表情Ⅴ」

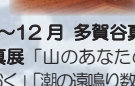
「山への誘い」

7～8月 環境省東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展

「東北の自然～風景/いきもの」

9～10月 工藤義之水彩画展

「三ツ石山の風景と山の花」



11～12月 多賀谷真吾写真展

「山のあなたの空とおく」「朝の遠鳴り数へては」

2015年 (H27)

1～2月 荒川三郎写真展

「八幡平の樹氷」

3～4月 広野孝男山の絵展

「裏岩手の山々に感謝して」

5～6月 工藤宏写真展

「鞍掛山の花」

7～8月 東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展

「東北の自然～四季」

9～10月 細川敬次写真展

「山スキーで行く八幡平 エリア～一度は見たい雪山の絶景」

11～12月 岩手山地区PV写真展

「自然が大好き」



2016年 (H28)

1～2月 荒川三郎写真展

「滝の造形」

3～4月 工藤義之水彩画展

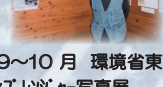
「山の頂上の風景」

5～6月 工藤宏写真展

「秋田駒ヶ岳 花の写真展」

7～8月 網張 VC

「国立公園への歩み 八幡平」



9～10月 環境省東北ｱｸｲﾌﾞﾘｯｼﾞ写真展

11～12月 鳥撮りとりおの

写真展「鳥撮りとりお in Amihari」

2017年 (H29)

1～2月 荒川三郎写真展

「山の彩り～国立公園 八幡平地域の四季」

3～4月 藤村節子布絵展

「ふるさとの風景」

5～6月 中山大太郎写真展

「岩手山・北アルプス小景」

「岩手山・槍ヶ岳小景」

7～8月 工藤義之水彩画展

「風景 里山の四季」

9～10月 環境省レンジャー写真展 2017

11～12月 村上匠写真展

「昭和の時代～岩手山と八幡平」

2018年 (H30)

1～2月 鳥撮りとりおの

写真展「鳥撮りとりお Exhibition in Amihari 2」

3～4月 佐々木弘元写真展

「花の三陸復興国立公園」

5～6月 工藤宏写真展

「岩手山の花」

7～8月 鬼海裕一写真展

「湯煙猿・雪猿・月輪熊・熊・白熊」

9～10月 環境省レンジャー写真展

11～12月 渡辺百合子写真展

「ちょうちん」

2019年 (H31/R1)

1～2月 鳥撮りとりおの

写真展「鳥撮りとりお in Amihari 3」

3～4月 細川敬次写真展

「山スキーで行く八幡平 エリア」

5～6月 阿部不顕写真展

「三陸復興国立公園～三陸海岸自然探訪」

7～8月 工藤義之水彩画展

「山の風景」

10月～ 網張 VC

「岩手山地区パークボランティア活動紹介」

※上記展示以降はVC改修工事に伴い休止。

2020年 (R2)

7月 網張 VC「夏休み特別企画～網張の森で撮影された昆虫写真展」

※上記前後はVC改修工事に伴い休止。



2005年から開始した「昔懐かしい登山・スキー用具」コーナーは多くの皆様のご協力により寄贈品が増え、より充実したものとなりました。現在はその中の一部を展示しています。

2021年 (R3)

1～2月 中山大太郎写真展

「岩手山の表情 partⅦ&partⅧ」

3～4月 荒川三郎写真展

「星と岩手山」「四季の岩手山」

5～6月 工藤宏写真展

「岩手山 花の写真展」

7～8月 工藤義之水彩画展「登山道」

7～8月 網張 VC「夏休み特別企画～昆虫写真展&昆虫スケッチ&昆虫クイズラリー」

9～11月 鳥撮りとりおの

写真展「鳥撮りとりお in Amihari 4」

11月 網張 VC

「網張の森で紅葉を楽しもう」

12月 網張 VC

「アミハリ・パース原画展」

12月～3月 網張 VC

「網張の森に棲む動物たち」

2022年 (R4)

1～2月 中川智恵子

水彩画展「山景色を歩く」

3～4月 細川敬次写真展

「かわいすぎるオコジョたち」

5～6月 野鳥の会

もりおか写真展 2022

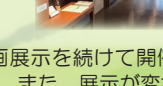
「山野の鳥」「水辺の鳥・海外の鳥」

※現在開催中

5～10月 網張 VC

「十和田八幡平国立公園 航空写真展」

※現在開催中



企画展示開催延べ回数: **102回**

協力者延べ人数: **85名**、団体数: **25団体**

ご協力いただいた皆様のおかげでこれまで企画展示を続けて開催することができました。大変ありがとうございました。また、展示が変わるごとに来館して下さった皆様にも重ねてお礼申し上げます。これからも自然の魅力を伝えられるような企画展示を開催して参ります。

実施いたしました行事は、新型コロナウイルス感染症対策に重点をおきながら開催いたしました。今後開催予定の行事につきましても、引き続き対策を講じながら行ってまいります。

4月3日「根開きのブナの森で春を探そう」



雲一つない晴天の下、クローズした静かなグレンデや森を歩き、木々の冬芽のふくらみや根開きなど春を感じながら散策を楽しみました。森の中ではモモンガのフンを発見！この森に確かに生息していることを実感しました。帰りはソリ滑りも好評でした。「春と冬のどちらも感じられて2倍楽しかった」「焼山が見えたのが印象的」参加者感想より。総勢 15名参加

5月8日「鞍掛山麓花愛でるハイキング」



岩手植物の会の工藤宏氏を講師にお迎えし、今咲いている花や、これから咲く花の葉について一つ一つ丁寧に解説していただきました。参加者はメモや写真を撮りながら熱心に観察。カタクリの群落も見事で、花や新緑、そして岩手山や牧野も眺めながらのハイキングでした。「今日のようにゆっくり鑑賞しながらの登山は初めて。こういう登り方もいいと思った」「鞍掛山の花の多さに驚いた」参加者感想より。総勢 18名

モモンガのつばやき

4月中旬のミニ企画「早春の森ハイキング」でフキノトウをご案内しようと目をやると、そこに小さなとぐろが！ヤマカガシでした。ようやく暖くなり体を温めようと石垣から出てきたばかりなのか、約2時間後に再び見に行った時もほとんど位置を変えずにじっとしていました。それから数日後の夕方、また姿を現したので、他のスタッフに伝え戻ってくると、カラスがそこにいました。カラスを追い払いたく手を叩いてみましたがあっという間にヤマカガシを銜えて飛んで行ってしまいました。厳しい自然界の現実を見た瞬間でした。(C)



今年も大人気！ヤマアカガエル生態飼育展示



4月23日にキャンプ場入口脇の湿地でヤマアカガエルの卵塊を採取しました。5月7日頃から孵化が進み、バケツから水槽に移してみなさんに観察していただいています。「次に来た時にはどのくらい大きくなっているか楽しみ」と見守って下さるリピーターさんもいます。6月26日(日)に『ヤマアカガエルの赤ちゃんを森へ帰そう』のイベントを予定しています。

十和田八幡平国立公園の航空写真を展示しています



ニュースカメラマンの柳沢啓氏撮影による空から見た「十和田八甲田地域」「八幡平地域」の地形をお楽しみ下さい。展示期間：5月～10月

インフォメーション

6月19日(日) 市民火山教室 『溶岩はどこから？焼走り地形散歩』

9:00～12:00 焼走り溶岩流駐車場集合

講師：土井 宣夫 氏

(岩手大学地域防災研究センター客員教授)

定員：10名 ※定員に達しました

参加料：大人500円 小学生以下300円

7月9日(土)～13日(水)

夏の網張の森ヒメボタル観察会

19:40～20:40 網張ビジターセンター集合

定員：各10名 ※要事前予約

参加料：一人300円

-国立公園で楽しむ親子の自然体験-

7月16日(土)「ナイトハイクと星空観察★」

18:50～20:50 網張ビジターセンター集合

講師：高橋 智香子 氏(星の案内人)

伊藤 修 氏(星の喫茶室)

定員：親子7組 15名 ※要事前予約

参加料：大人 500円 中学生以下300円

☆詳しくはビジターセンターまでお問い合わせ下さい。
☆新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止になる場合もございます。最新の開催情報を事前にご確認下さい。

◆◆現在開催中のビジターセンター企画展◆◆ 5月1日(日)～6月30日(木)

—野鳥の会もりおか写真展2022—

Part1「山野の鳥」 Part2「水辺の鳥・海外の鳥」

岩手県内で観察された野鳥は、280種を超えます。自然豊かな県土の指標となるもので、今回展示された写真は、その一部を示したものです。また、野鳥の会もりおかの会員が県外や海外まで足を運んで撮影した写真も含まれます。岩手の自然に想いを馳せ、1枚の写真に秘められた撮影者の熱い思いをくみ取っていただければ、幸いです。—出展団体の言葉より—



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 3月 700人 ◆ 4月 828人

朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 3月 -4℃ ◆ 4月 3.2℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 夏期 (4月から10月末まで) 休館日なし 9時～17時